

行政視察報告書

令和7年7月17日

長浜市議会議長 高山 亨 様

長浜市議会議員 橋本 典子

私が出席した次の行政視察の結果について報告します。

記

1. 視察等名 令和7年度議会運営委員会行政視察研修
2. 視察期間 令和7年7月3日(木)～7月4日(金)
3. 視察場所及び目的
 - ①静岡県富士市
議会改革の取組について(議会における事業評価等)
 - ②埼玉県所沢市
議会改革の取組について(議会評価、議員間討議、政策研究審議会等)
4. 調査内容感想等

①富士市 出席者 副議長、議会事務局

富士市の紹介

面積 244.95 km²

人口 245,178 人 (R7.5.1 現在)

1. 議会における事業評価

評価の方法

①6月定例会会期中に対象事業を選定。

②9月定例会で決算審査と合わせ評価を行う。

※対象事業の選定から評価までの具体的な協議は書く分科会で行っている。

評価の対象

○一般・特別会計は主に予算小事業

○企業会計は主に事務事業

効果

○ひとりの議員の意見やようぼうではなく議員の総意として当局に提出してい

るため、改善や見直しを求めたものは繁栄されやすい。

○議会報告会において、報告内容に取り上げやすく市民にも関心を持ってもらえる。

○当局にとっても視点を変え自分たちの事業を見直す場となっている。

課題

○一般会計において市の小事業は 1000 あるが内部管理的なものも多く評価対象事業の選定に苦労している。

○企業会計は事務事業が少ないため、一般会計以上に対象事業に苦労をする。

○議員は事業を推進したいことが多いため、拡充や予算の増を求める意見が出やすい。(コロナ禍以降の5年は大幅な見直しや縮小・廃止を検討する事業を選定することとした。)

○評価の作成に当たっては議員の合意を重視しているため、平均値をとる発想になり、評価が真ん中による傾向がある。

課題解決が今後、重要となる

①事業評価は、行政の透明性向上に不可欠ですが、課題も存在する。

議員は事業を推進したいことが多く予算増を求める意見が出やすく評価が、議員の合意を重視しているため、平均値をとる発想になり真ん中による傾向がある。これは真に有効な改善策を阻害する恐れも懸念される。

②定量的なデータに基づいた客観的な評価基準の設定、市民参加による多角的な視点の導入、そして評価結果を予算編成に連動させる仕組みづくりが重要。

③市民参加の促進・評価結果の公開。評価プロセスの透明化・専門性の不足・事務負担の増大など、今回の視察も参考にこれらの課題を克服し、事業評価を活性化させることが必要だと思う。

参考

ア評価対象事業の提案 (2日間) 対象事業の調査・確認

イ評価対象事業の選定 (2日間)

ウ評価対象事業の決定

エ当局からの資料提出

オ評価対象事業の当局説明、質疑

カ評価対象事業の追加質疑 (2日間)

キ評価の作成

ク評価対象事業の追加質疑追加基準追加質疑 (2日間)

ケ評価の作成

コ評価の決定

サ評価の確認

シ市長への評価提出（定例会最終日）
ス当局から予算案への反映状況個票提出

※評価の流れ

ア 5/30～サ 11/4 の約 4 か月かけて対象事業の選定から評価の確認まで行っている。

②所沢市議会視察 令和 7 年 7 月 4 日

・所沢出席者 議長、議運委員長、大石（自民 5 期目）、石本（民主 5 期目）
所沢市の紹介

面積 72.11 km²

人口 342,791 人（R7.5.1 現在）

日本初！飛行場から飛行機が飛んだ！！「航空発祥の地」

名産は狭山茶！ 日本 3 大銘茶

イメージマスコット 市トコロん 市議会 みみ丸

ところざわサクラタウン

埼玉西武ライオンズ

1.市議会改革の方針について

基本条例から・・・平成 9 年 4 月全国に先駆けて議員提案により「ダイオキシンを少なくし所沢にきれいな空気を取り戻すための条例」を制定しました、政務調査費の使途の明確化、政治倫理規定の制定など、議会改革にも取り組んできました。H12 年 4 月に施行されたいわゆる地方分権一括法は、本市が自らの責任において、その組織および運営に関する様々な改定を行うことを可能とし、このことにより議会の役割の重要性はさらに高まった。

議会及び議員は、より一層の市民からの信頼に応えるため、積極的な情報の公開を通じて説明責任を果たし、議会諸活動への市民の参加のもと、平等の権利を有する」議員相互の自由闊達な議論を展開しながら、姿勢の論点を明らかにして、政策立案及び提言を積極的に行っていかなければならない。

2.議会評価の仕組みと事業評価について（導入を検討する視点から）

・議会事業評価（年度末に実施）（H21.6～）

議会運営委員会および広聴広報委員会による所管事業の自己評価をおこなう。

・議会改革評価

議会基本条例に規定する項目を評価。議会改革の成果→報告書としてまとめ、市議会 HP で公表

・1 年間の主な事業の総括の機会とする・・・効果→記録公開と協議事項の共有が可能

・議会基本条例の進捗状況と総括のため・・・効果→自己評価の達成度の明確化
3.政策討論会（実施要綱 H26.8. 27 施行）・・・特定のテーマに対する議員間討
議を通し政策立案・提言を行う

- ・所管を明確に→広聴広報委員会
- ・政策形成サイクルへの反映
- ・委員会でも実施することができる

議会報告会との違いと位置づけ・・・市民と議員との自由な意見交換のひとつ
みみカフェ（20 歳代～40 歳代）も同様

4.市民参加、広報・広聴の推進について

- ・みみ丸カフェ（H28.H30）

ワールドカフェスタイルによる市民と議員の懇談会

- ・無作為抽出による ・早稲田大学との連携協定を活用 ・高校生との意見交
換会（とこ高 R4.7 とこ西 R4.11）
- ・市議会公式ユーチューブチャンネル開設（R211）
- ・インターネット中継（ライブ配信）に AI 字幕導入（R4.6～）
- ・市議会だより
 - ・発行時期；2.5.8.11 月の 15 日
 - ・配布方法；ポスティングによる全戸配布
 - ・作成部数；176500 部
 - ・ページ数 16 枚

視察での 1 問 1 答

政策討論会実施要綱（H26 年 8/27 施行）

三重県議会が先進でそのまま導入した。自由討議と一緒。

通年議会・・・議運で政策討論会をしてもらう。

来年 2 月 今後改革のテーマになるからと「市民から議員になって」・・・公聴
広報委員会担当

今まで・・・若年層の投票率向上のため、高校生の意見を聞いてきた。

1 昨年高校を会場に。昨年は議場に来てもらった。 5 校中 2 校実施した。
全部の高校に正・副委員長で説明に回った。（高校によって考え方がちがう）
特に 2 回目・・・みみカフェ 早稲田大学の学生対象に 議会報告会とは別に 8
月に開催したが今はしていない。これが高校の取り組みにつながった。今は高
校生だけになった。・・・所沢高校 2 回 議会を会場に 11 月 6 日 21 名参
加、 11 月 25 日 15 名参加

過去の討論会では、博物館を個人で作った人がいてその会員に依頼した時、
100 名、70 名の参加があった。ある程度テーマをしばって開催する・・・新所沢
問題が一番多かった。バスのつり皮に議員の顔がのった広告もした。

